

「旧漁業権者法」及び「北特法」の改正案が可決、成立!

「北方地域旧漁業権者等に対する特別措置に関する法律(旧漁業権者法)」及び「北方領土問題等解決促進特別措置法(北特法)」の改正案が本年7月18日に可決、成立しました。

旧漁業権者法の改正要点

○北対協融資制度の承継対象者の拡大

1. 生前承継

①指定できる人数

【現 行】 収入によって生計を維持している者(一人に限る)

【改正後】 生計維持の一定の要件満たす者を複数人指定できる。

生計維持と併せて主たる「介護者」を指定できる。

②指定の対象となる親族の範囲

【現 行】 「子」または「孫」

【改正後】 「配偶者」、「子」、「子の配偶者」、「孫」、「孫の配偶者」

2. 死後承継も生前承継と同様に対象者を拡大

3. 施行日は平成31年4月1日(既に承継している場合の経過措置規定あり)

北特法の改正要点

○北方領土隣接地域振興等基金(北方基金100億円)の取り崩しを可能とする規定を追加

1. 取り崩し可能による効果

①北海道補助金の増額が見込まれる。

②後継者活動に対する北海道補助金の増額が期待される。

2. 目的に「共同経済活動」を背景事情として明記

3. 定義に「特定共同経済活動」を明記

～北方領土隣接地域の経済の活性化に資するものとして内閣総理大臣、外務大臣及び国土交通大臣が定める共同経済活動

4. 特定共同経済活動のための環境整備に関する規定を追加

～国、北海道並びに北方領土隣接地域の市及び町は、特定共同経済活動を円滑に実施するために必要な北方領土隣接地域の環境整備に努めるものとすること

5. 施行日は平成31年4月1日

会員の皆様へ

●会員募集中!

会員の方々のご家族や知人等で千島連盟に加入されていない元島民や後継者(子・孫)の方々に是非入会をお勧め下さい。(詳細は事務局にご照会下さい。)

●会費納入のお願い

千島連盟は皆さんの会費で運営されています。(本部会費は年額2,000円)
未納の方は早めに納入頂きますようお願い致します。

●編集後記

今年も残り2か月あまりとなりました。

北方領土問題に目を向けてみると、9月10日に行われた日ロ首脳会談では具体的な進展は一切無く、12日に行われた東方経済フォーラムの全体会合ではプーチン大統領が突如「無条件」での平和条約締結を提案するなど今後の日ロ外交の交渉次第では北方領土問題の解決は遠のくではと危惧されます。

また、10月2日に発足した第4次安倍改造内閣で、自民党北方調査会PTの座長として北方領土問題に関わりが深い宮腰光寛氏が沖縄北方担当大臣に就任されました。隣接地域の実情にも深く理解されている宮腰大臣の活躍に期待したいと思います。

領土の1日も早い返還を願い、健康にご留意し輝かしい新年をお迎えください。

(事務局長 松本)

千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部通信



Vol.6

発行日/平成30年11月1日

題字/宮脇 田鶴子

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地 中標津町役場内
TEL(0153)73-3111(内線525)・FAX(0153)73-5333

「第8回北方領土返還要求中標津住民大会」の開催



8月11日㈯、「第62回なかしべつ夏まつり会場」で午後2時30分からステージ前に約800人を超える町民の参加のもとに「中標津住民大会」が開催されました。

大会では脇紀美夫千島連盟理事長が「元島民の故郷でありながら自由に往来が出来ず、悔しい思いをしている現状を訴え、一日も早い領土返還に全力で取り組む」との強い決意の言葉をいただきました。

本年度の大会では地元の中学生による弁論発表の場を設け、集まった地域住民の方々に領土問題が身近な、そして切実な問題であることを訴えることが出来ました。

大会最後に青年部三世の工藤光司君による「四島よ還れ」のシナリオヒールを来場者全員で行ったあと、恒例となっている「北方領土返還要求bingo大会」を青年部の協力のもと盛大に行い、住民大会を終了した。

また、会場内で11～12日の2日間、雨模様のなか支部役員の協力を得て署名活動を行い、1,242名の方々から署名をいただきました。

「第10回北方領土語り部&寄席inなかしべつ」の開催



啓発推進事業として「北方領土の語り部&寄席」を7月14日㈯、午後6時から中央斎場ワタナベで約330名の来場者により盛大に開催されました。

本年度の「語り部&寄席」は、第10回記念として「怪談噺の夕べ」と題した演者2名による落語と、国後島2世で青年部長の館下雅志さんによる「語り部」を行い、島での暮らしや領土交渉の歴史や課題を分かり易く伝える事が出来ました。

この後、上演した寄席は、島民2世でもある「三遊亭金八師匠」と怪談噺の第一人者である「林家正雀師匠」による落語で楽しいひと時を過ごしていただき、終演後、同会場でお楽しみ抽選会を出演者を交えて行い、返還要求運動の相互理解を深める事が出来ました。

また、会場入口には署名コーナーを設け、229名の方々から署名をいただきました。

本事業は青年部が主体となって、当日までの準備から実施までを行っていただき感謝申し上げます。

青年部活動報告

北方領土返還要求後継者キャラバン隊への参加



北方領土返還要求後継者キャラバン隊が8月24日から27日まで旭川市に派遣され、当青年部から3名が参加してきました。

隊員は道内10支部から18名が参加し、啓発会場となった「旭川W.s.hアッシュ」で北方領土写真パネル展を開催。

また、同会場で署名活動を行うとともに、根室管内の特産品が当たる「北方領土ビンゴ」や「北方領土クイズ」を行い、領土返還要求の国民世論の高揚と領土問題の解決に向けた啓発活動を精力的に行ってきました。(中標津支部から館下、宮脇、川西が参加)

最終日は、上川総合振興局と旭川市役所を表敬訪問し、脇紀美夫連盟理事長のメッセージを伝達しました。

後継者活動促進全国セミナーへの参加

10月13日(土)～14日(日)の2日間、札幌市で開催された千島連盟主催の「後継者活動促進全国セミナー」に中標津支部青年部から館下、宮脇、松本の3名が出席してきました。

これからの領土返還運動には、元島民居住者の方々の高齢化が進むなか、後継者活動の充実と育成強化が必要です。

後継者の皆さんへの積極的な参加を是非お願いします。



INFORMATION

これからの支部事業のご案内

「北方領土の日」特別啓発事業の実施



「北方領土の日」特別啓発事業として、「第44回なかしべつ冬まつり会場(しるべっと町民ホール)」において2月9日～10日の2日間、署名活動を行います。会員皆様のご協力宜しくお願いします。

「北方領土の日」根室管内住民大会の開催



平成31年2月7日に根室市において「北方領土の日」根室管内住民大会が開催されます。

大会では、管内1市4町の次世代を担う中学生による弁論発表とアトラクション(出演者は未定)が予定されており、毎年、各町から多数の方が参加されています。

当日は、中標津町から送迎バスが運行される予定ですので、後日改めて会員の皆さんに参加案内を送付致しますので、多数のみなさんの参加をお待ちしております。

故郷への想い 「空路墓参に参加して…」

Part 2

佐藤 キイ(二世 国後島 泊)



この度、北方領土墓参への参加希望調書が届き、航空機による墓参という事で申し込みを致しました。

私もだんだん高齢になり、少しでも足腰の達者なうちにと思い申し込みし、おかげで推薦内定の書類を頂き思い切って行く事にしました。

私は、10年前に一度船で国後島の泊村に墓参に行っておりますが、その時は船酔いが酷く、心身ともに疲れた渡航だった事を思い出します。泊の墓には昔の墓石は何もなく、私の姉が眠っている場所も分からず、日本の政府が立てたと思われる墓石が1個立っていました。小高い平原でそこから海の方を見ると津軽の街がすぐそこに見え、こんなに近いのにも遠く感じたことを鮮明に記憶しております。

今回の航空機での墓参は、濃霧の影響で出発が遅れ、国後島の空港での入域手続き時にトラブルがあり、約2時間バスの中で長時間待たされる等、色々な問題もありましたが、私にとって大変な思いをした船での墓参の時と比べ飛行機での墓参は、時間と体がこんなに楽で、天候さえ良ければまた行ってみたい気持ちになりました。

元島民の高齢化が進んでおり、四島で眠っている親族の墓参りが自由に出来ることを強く望むとともに、体力的に楽な空路墓参が続くことを願います。



航空機から眺める国後島



故郷への想い

Part 3



「北方領土墓参に参加して…」

松尾 ス工(元島民 国後島 泊出身)

今回、四島から引き揚げてから初めて8月8日から10日の日程で行われた北方領土墓参(国後島)に参加致しました。

73年振りに故郷に行ける喜びと、船での渡航に不安を感じながら出発日を楽しみに思っておりました。

今回の墓参では、出発10日前の電話でロシア側との調整が不調におわり、「泊墓地」への墓参が出来ず、また、台風12号の影響で日程が1日短縮されるなど色々ありましたが、何とか無事に国後島に上陸する事が出来ました。

灯台のある「ケムライ岬」で慰靈祭を行い、私は母の写真を持って姉に「長い間ご無沙汰しましたね」と手を合わせることが出来ました。

私の姉は、21歳の時に病気でこの世を去り、植内墓地に埋葬されており、これまで中々お参りに行く事が出来ず、今回、姉の眠る墓地には行けませんでしたが、私たち家族が生活していた国後島の岬で手を合わせることができ今回、思い切って行ったことに大変満足して帰ってきました。

自由にお墓参りに行く事が出来ない現実ではありますが、一日も早い領土の返還を願い、私も力の限り頑張って行きたいと思っております。

